

アンソレーナさんと “スラム改善”を語ろう！



近年、途上国のスラム改善のための、政府や民間機関の援助は減少傾向にあり、支援を受けるには、詳細なレポートの提出が求められる。そうした状況下で、多くの貧困者組織はさまざまな可能性を模索している。その中でいくつかの貧困者組織は、NGO や専門家グループから、技術的経済的アドバイスを受けながら、組織の向上をはかり、政府の支援を取り付けている。

この一年も世界各地で、自分の目で見てきたアンソレーナさんが、スラム改善プロジェクトをご紹介します。皆さん、振るってご参加ください！

4月27日 (月)	南アフリカ
<ul style="list-style-type: none"> * CORC の若い専門家は「国際貧困者連合：SDI」のコミュニティ活動を強化。 * 住宅大臣は SDI のスラムアップグレードをバックアップ。 * MOU (合意覚書) 契約によって連合と地方自治体が行う共同作業の例。 <p>CORC: Community Organization Resource Center SDI: Slum Dweller Internationa MOU: Memorandum of Understanding</p>	
5月25日 (月)	ナミビア
<ul style="list-style-type: none"> * アフリカで最初に貧困者連合を設立。 * 政府と連合のパートナーシップによる“共に建てようプログラム”。 * 「ナミビア貧困者連合」の自立性。 	
6月22日 (月)	カンボジア
<ul style="list-style-type: none"> * ACHR の仲立ちで CDF は政府と MOU 契約を結び住宅改善を実施。 * CANCAM の若い建築家はスラム改善に意欲的に取り組んでいる。 * 2014 年の CANCAM の活動。 <p>ACHR: Asian Coalition for Housing Right CDF: Cambodia Development Fund CANCAM: Community Architect Network in Cambodia</p>	
7月13日 (月)	フィリピン
<ul style="list-style-type: none"> * CMP : コミュニティ抵当プログラム (政府機関)。 * CMP は 27 年前貧困者に初めて土地購入のためのローンを提供。 * 2014 年までの CMP の歩み。 *これまで 30 万世帯が恩恵を受けている。 * NPO のリーダーが会長になり貧困対策に拍車がかかる。 *最近の災害救援活動。 <p>CMP: Community Mortgage Program</p>	

講師 ホルヘ アンソレーナ

世界各地のスラムの貧困者を訪ねて交流し、居住環境改善と住民の自立を支援。

SELAVIP (ラテンアメリカ アジア住居奉仕団) 代表。

1994 年マグサイサイ賞国際理解部門受賞。

日本建築学会会員。イエズス会司祭

時間 18:30~20:00

会場 岐部ホール4階 404…JR・地下鉄「四ツ谷駅」すぐ

参加費 無料・会場での寄付歓迎(申込不要)

連絡先 ☎03-5215-1844

主催 イエズス会社会司牧センター

